

薬学教育モデル・コアカリキュラム及び実務実習モデル・コアカリキュラムの改訂に向けて

松木 則夫¹，赤池 昭紀²

¹薬学会コアカリ委員長，²薬学会コアカリ委員

現行の薬学教育モデル・コアカリキュラムに関しては、平成18年の6年制薬学教育の開始に先立ち、平成14年4月に日本薬学会が主導して薬学専門教育に関わる内容を中心として、「薬学教育モデル・コアカリキュラムおよび卒業実習カリキュラム」が作成され、次いで、文部科学省が主導して、「実務実習モデル・コアカリキュラム」が作成されました。

昨年5月に開催された薬学系人材養成の在り方に関する検討会で、薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂を行うことが決定し、薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会が設置されました。さらに、具体的な作業チームとして大学における医療人養成推進等委託事業としての調査研究が日本薬学会に委託されました。両者で基本方針に関する議論が進められ、各大学に対するアンケート調査が実施されました。基本方針についてのコンセンサスを得ることは、実際の作業実施には不可欠のことですので、本シンポジウムを企画しました。基本方針についての専門研究委員会や薬学会コアカリ委員会での議論を紹介するとともに、アンケート調査結果をもとに課題や留意すべき点を整理して示し、今後の改訂作業の展望を議論する予定です。また、医学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂についても紹介していただきます。